



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社

コード番号 2108 URL <http://www.nitten.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小笠原 昭男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 小島 洋司

TEL 03-6414-5522

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,620	0.7	843	△51.0	930	△48.4	439	△57.0
24年3月期第2四半期	27,440	△5.0	1,722	△14.0	1,803	△10.4	1,023	△4.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 174百万円 (△80.1%) 24年3月期第2四半期 879百万円 (74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.06	—
24年3月期第2四半期	7.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	72,074	54,146	75.1	377.05
24年3月期	77,366	54,663	70.7	381.07

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 54,146百万円 24年3月期 54,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,400	0.1	1,700	△11.5	1,800	△14.6	950	△20.1	6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

※詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	153,256,428 株	24年3月期	153,256,428 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	9,652,524 株	24年3月期	9,809,208 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	143,524,322 株	24年3月期2Q	143,447,752 株
----------	---------------	----------	---------------

※自己株式には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口)の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は11月13日に終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や各種政策効果を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界的な景気減速感の強まりを受け国内景気回復の動きに足踏みが見られ、先行きは依然不透明な状況にあります。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や長引くデフレ傾向を背景に、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比0.7%増の27,620百万円となりましたが、砂糖事業の減益を受け、経常利益は前年同期比48.4%減の930百万円、四半期純利益は前年同期比57.0%減の439百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## &lt;砂糖事業&gt;

海外砂糖相場は、期初24.58セント(ニューヨーク粗糖先物相場(期近)、ポンド当たり)で始まり、タイ、ブラジルなどの主要生産国の増産予想による世界的な供給過剰感の強まりや欧州金融不安による投機資金の流出などから、6月には18.90セントまで下落しました。その後、世界最大の生産・輸出国ブラジルの天候不順による生産不安視などから、目先の供給懸念を背景に7月には23.92セントまで上昇しましたが、天候回復によるブラジルの増産予想から供給懸念が後退し、相場は下落傾向となり、19.58セントで当第2四半期連結累計期間を終えました。

一方、国内砂糖市況は、期初185～186円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まりましたが、海外砂糖相場の下落を受けて、7月に182～183円に下落し、そのまま当第2四半期連結累計期間を終えました。

ビート糖は、国内砂糖市況の下落に伴い販売価格は下落しましたが、平成23年産糖の生産の回復があり、原料糖の販売量が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

精糖は、当初、電力供給制約からの前倒し生産などにより順調に推移しましたが、記録的な残暑が続くなか、飲料向けを中心に業務用が低調となり、販売量、売上高とも前年同期を下回りました。

砂糖セグメントの売上高は、ビート原料糖の販売量が増加したことにより、前年同期比0.4%増の20,007百万円となりましたが、セグメント利益は、平成23年産ビート糖の製造コスト上昇と販売価格の下落により、前年同期比73.9%減の389百万円となりました。

## &lt;食品事業&gt;

イーストは、記録的な残暑の影響によるパン需要の落ち込みや東日本大震災後の特需の一巡などから、販売量、売上高とも前年同期を下回りました。

オリゴ糖等機能性食品は、ベタイン、DFAⅢ等の販売量が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

食品セグメントの売上高は前年同期比7.3%減の1,173百万円となり、65百万円のセグメント損失(前年同期は64百万円のセグメント損失)となりました。

## &lt;飼料事業&gt;

配合飼料は、販売量が減少し、販売価格も下がったため、売上高は前年同期を下回りました。

ビートパルプは、平成23年産の繰越在庫が増えたため、販売量、売上高とも前年同期を上回りました。

飼料セグメントの売上高は前年同期比3.4%増の3,337百万円となりましたが、46百万円のセグメント損失(前年同期は104百万円のセグメント損失)となりました。

## &lt;農業資材事業&gt;

紙筒(移植栽培用育苗鉢)は、そ菜用の販売が好調だったため、売上高は前年同期を上回りました。

農業機材は、移植機の販売増加等により、売上高は前年同期を上回りました。

農業資材セグメントの売上高は前年同期比4.1%増の1,702百万円となり、セグメント利益は前年同期比

121.1%増の188百万円となりました。

#### <不動産事業>

不動産セグメントの売上高はほぼ前年同期並の637百万円となり、セグメント利益は前年同期比3.1%増の409百万円となりました。

#### <その他>

その他のセグメントの売上高は前年同期比1.2%増の761百万円となりましたが、89百万円のセグメント損失(前年同期は83百万円のセグメント損失)となりました。

(注) セグメント利益または損失は、営業利益または損失であります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比5,291百万円減の72,074百万円で、このうち流動資産は、主にたな卸資産の減少により前連結会計年度末比4,822百万円減の38,826百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の下落により前連結会計年度末比469百万円減の33,247百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比4,774百万円減の17,927百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比4,440百万円減の10,385百万円となり、固定負債は、主に預り保証金の減少により前連結会計年度末比333百万円減の7,542百万円となりました。

純資産は、主に配当金の支払により利益剰余金が減少したため、前連結会計年度末比517百万円減の54,146百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,795百万円の収入となり、前年同期に比べ、159百万円の資金の減少となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益の減少により1,042百万円、法人税等の支払額の増加により567百万円の資金の減少となり、その他の流動資産の増減額の減少により543百万円、売上債権の増減額の減少により486百万円、未払消費税等の増減額の増加により365百万円の資金の増加となったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,674百万円の支出となり、前年同期に比べ、838百万円の資金の増加となりました。

これは、主に有価証券の収支差により500百万円の収入増、有形固定資産の取得による支出が288百万円の支出減となったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6,562百万円の支出となり、前年同期に比べ、127百万円の資金の増加となりました。

これは、主に短期借入金の収支差により70百万円、長期借入金の返済により57百万円の支出減となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同四半期連結累計期間末に比べ59百万円増加し、7,795百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年産原料甜菜は、秋の登熟期における気象が著しい高温で推移したことにより、低糖分となることが見込まれ、製造コストの大幅な上昇も懸念される状況にあるため、平成24年8月10日に公表いたしました平成25年3月期の連結・個別業績予想につきまして、次のとおり修正いたします。

平成25年3月期 通期連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,200	2,250	2,300	1,200	8.36
今回修正予想(B)	57,400	1,700	1,800	950	6.62
増減額(B-A)	△800	△550	△500	△250	—
増減率(%)	△1.4	△24.4	△21.7	△20.8	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	57,365	1,920	2,108	1,188	8.28

## &lt;参考&gt;

平成25年3月期 通期個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,000	1,760	1,800	900	6.27
今回修正予想(B)	55,300	1,250	1,300	650	4.53
増減額(B-A)	△700	△510	△500	△250	—
増減率(%)	△1.3	△29.0	△27.8	△27.8	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	54,711	1,602	1,653	890	6.21

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)及び流動負債(その他)として繰延べております。

## ②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,237	3,095
受取手形及び売掛金	7,050	7,932
有価証券	7,000	9,300
商品及び製品	19,347	8,591
仕掛品	3,480	356
原材料及び貯蔵品	2,464	3,819
その他	1,070	5,731
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	43,649	38,826
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,343	11,164
その他(純額)	11,678	11,847
有形固定資産合計	23,021	23,012
無形固定資産	431	395
投資その他の資産		
投資有価証券	9,805	9,397
その他	463	449
貸倒引当金	△5	△7
投資その他の資産合計	10,264	9,839
固定資産合計	33,716	33,247
資産合計	77,366	72,074
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,192	1,098
短期借入金	7,996	2,099
未払法人税等	651	314
その他	4,985	6,873
流動負債合計	14,826	10,385
固定負債		
長期借入金	310	343
退職給付引当金	3,798	3,824
役員退職慰労引当金	10	12
その他	3,756	3,361
固定負債合計	7,875	7,542
負債合計	22,702	17,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	38,869	38,582
自己株式	△2,113	△2,079
株主資本合計	53,439	53,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,222	959
繰延ヘッジ損益	1	△0
その他の包括利益累計額合計	1,224	959
純資産合計	54,663	54,146
負債純資産合計	77,366	72,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	27,440	27,620
売上原価	19,535	20,584
売上総利益	7,905	7,036
販売費及び一般管理費		
販売費	4,843	4,815
一般管理費	1,339	1,378
販売費及び一般管理費合計	6,183	6,193
営業利益	1,722	843
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	146	125
持分法による投資利益	5	16
その他	33	39
営業外収益合計	194	190
営業外費用		
支払利息	61	56
固定資産処分損	25	19
その他	25	28
営業外費用合計	113	103
経常利益	1,803	930
特別利益		
固定資産売却益	2	11
その他	—	0
特別利益合計	2	12
特別損失		
固定資産処分損	18	180
投資有価証券評価損	3	20
その他	1	0
特別損失合計	22	201
税金等調整前四半期純利益	1,783	741
法人税等	760	301
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	439
四半期純利益	1,023	439

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,023	439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△142	△262
繰延ヘッジ損益	△1	△2
その他の包括利益合計	△144	△264
四半期包括利益	879	174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	879	174
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,783	741
減価償却費	1,271	1,138
持分法による投資損益(△は益)	△5	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	34	25
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	2
受取利息及び受取配当金	△155	△134
支払利息	61	56
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	3	20
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△13
有形固定資産除却損	25	13
売上債権の増減額(△は増加)	△1,370	△884
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,264	12,523
前払費用の増減額(△は増加)	△164	△59
未収入金の増減額(△は増加)	98	71
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,226	△4,682
仕入債務の増減額(△は減少)	△27	△93
未払消費税等の増減額(△は減少)	△379	△13
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,724	1,690
その他	11	△32
小計	9,945	10,355
利息及び配当金の受取額	151	131
利息の支払額	△66	△62
保険金の受取額	—	12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△74	△642
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,954	9,795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,100	△100
定期預金の払戻による収入	1,000	—
有価証券の取得による支出	△4,000	△3,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,000	1,500
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
有形固定資産の取得による支出	△1,138	△849
有形固定資産の売却による収入	16	13
預り保証金の受入による収入	—	18
預り保証金の返還による支出	△262	△262
その他	△26	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,513	△2,674

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,220	1,920
短期借入金の返済による支出	△8,190	△7,820
長期借入れによる収入	130	130
長期借入金の返済による支出	△152	△94
配当金の支払額	△714	△713
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	26	25
リース債務の返済による支出	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,689	△6,562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247	558
現金及び現金同等物の期首残高	7,984	7,237
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,736	7,795

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,920	1,265	3,226	1,634	640	26,687	752	27,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	13	—	3	38	56	1,004	1,060
計	19,920	1,278	3,226	1,638	679	26,744	1,756	28,501
セグメント利益 又は損失(△)	1,491	△64	△104	85	397	1,804	△83	1,720

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,804
「その他」の区分の損失(△)	△83
セグメント間取引消去	1
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,722

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,007	1,173	3,337	1,702	637	26,859	761	27,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	14	—	1	42	59	1,356	1,415
計	20,008	1,188	3,337	1,704	679	26,918	2,117	29,036
セグメント利益 又は損失(△)	389	△65	△46	188	409	875	△89	785

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	875
「その他」の区分の損失(△)	△89
セグメント間取引消去	56
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	843

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。